

佐久市立中学校の運動・文化部活動の 地域移行に向けたアンケート調査結果

(3) 小学 5 ・ 6 年生 保護者 版

対象世帯数	回答件数	回収率
1, 6 9 0 人	1, 2 3 7 件	7 3 . 2 %

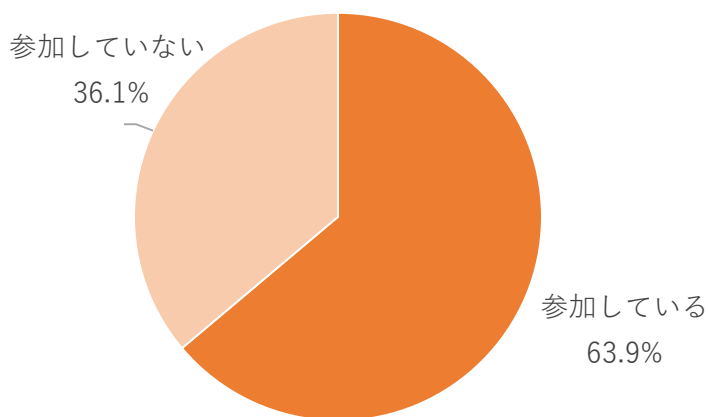
佐久市教育委員会 社会教育部 スポーツ課
令和 6 年 3 月

問1 放課後や休日のクラブ活動の参加状況

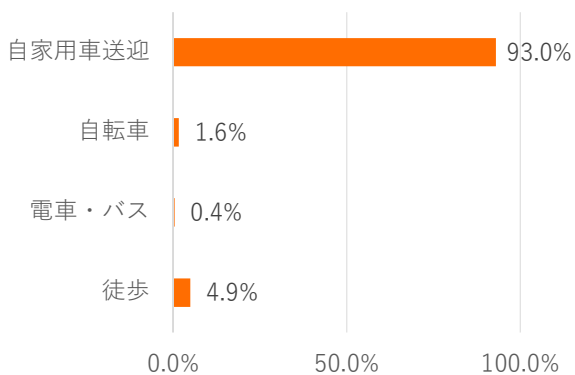
- クラブ活動の状況について質問。
- 子どもが活動している回答者の割合は約64%であった。
- 活動場所までは、15～30分かけて送迎しているケースがほとんどである。

※クラブ活動の定義・・・「放課後や休日に行われるスポーツ少年団・クラブチーム（スポーツ）・スクール・ピアノ・書道・合唱・吹奏楽など」のことを称す。

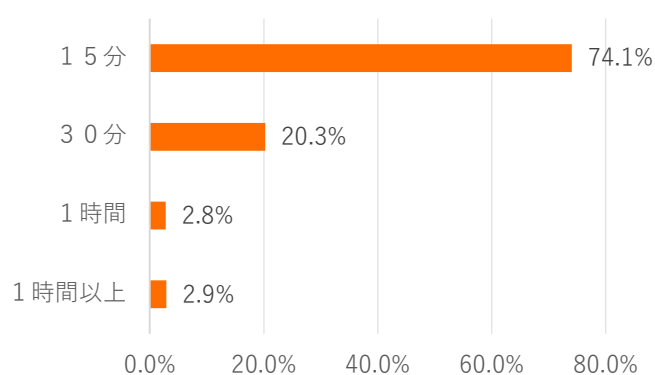
① 放課後や休日におけるスポーツや音楽などのクラブ活動への参加



② クラブ活動の場所までの移動手段

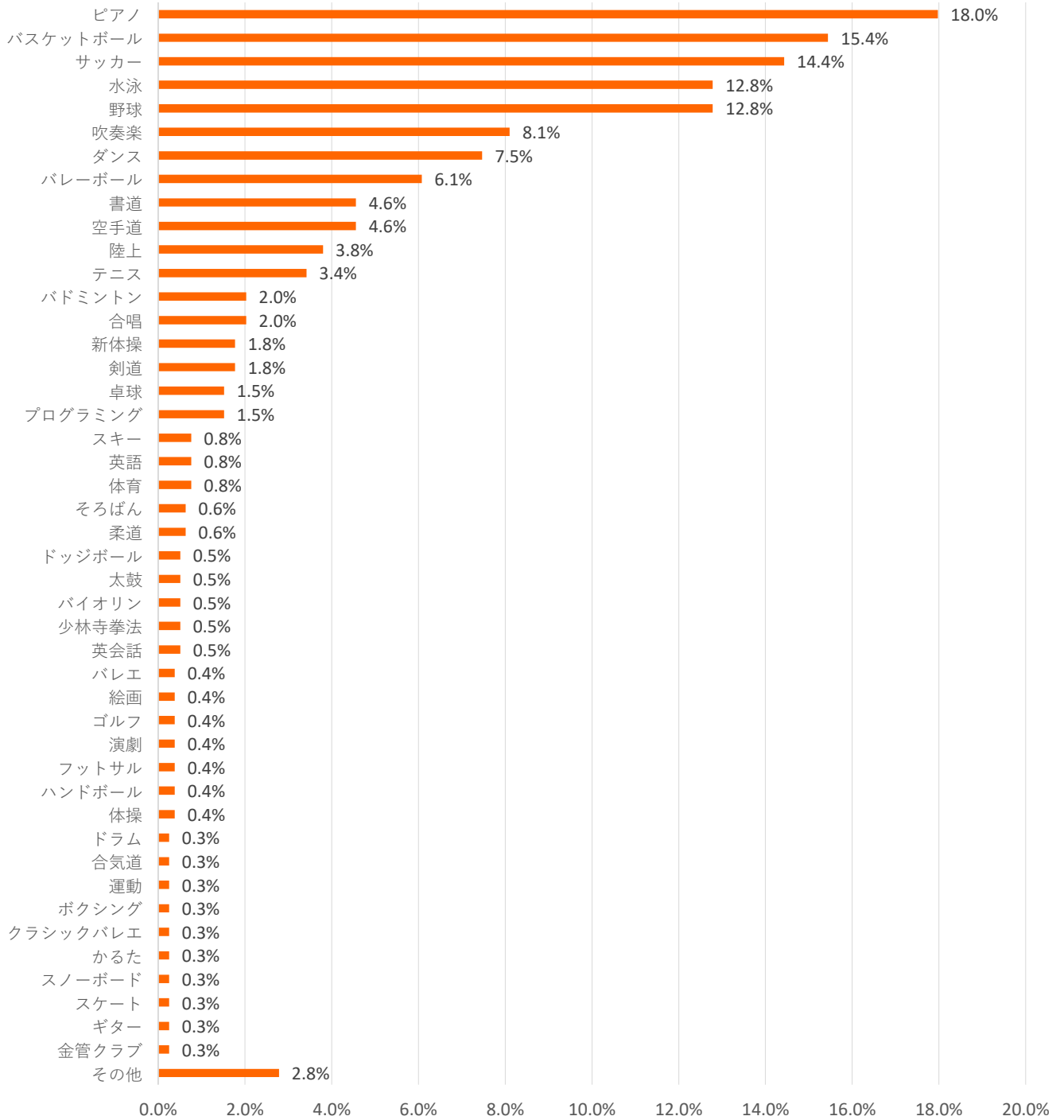


③ クラブ活動の場所までの移動時間



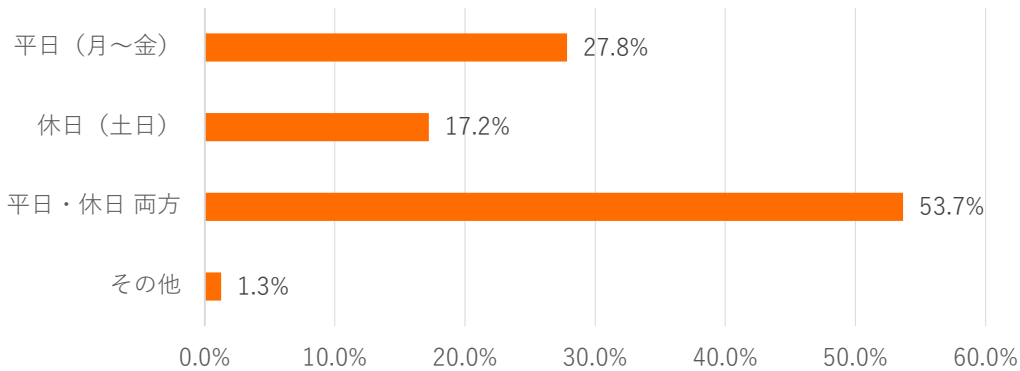
- クラブ活動の種類は、上位からピアノ、バスケットボール、サッカーとなった。
- また、中学校の部活動にはない競技・活動も多く、多様な活動が行われている様子が見取れる。

④ クラブ活動の所属状況（複数選択）

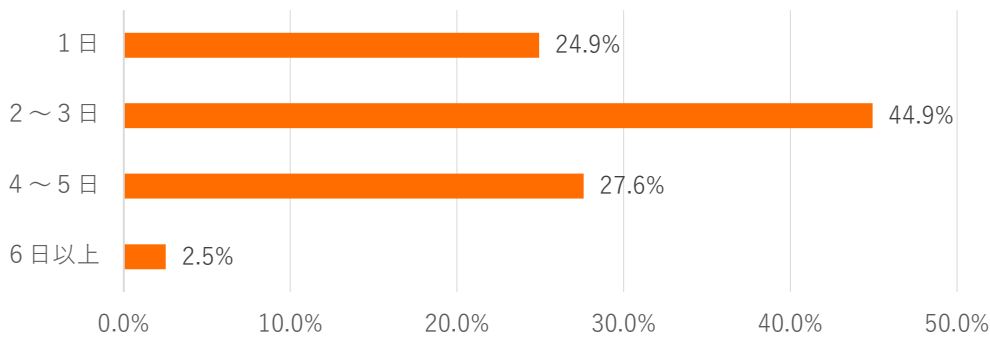


- 平日・休日を問わず、クラブ活動・習い事に参加している実態がある。
- 週末（土・日）中心に活動しているクラブが多い実態を確認できる。
- 1回あたりの活動時間は概ね午前か午後の半日単位と推測できる。

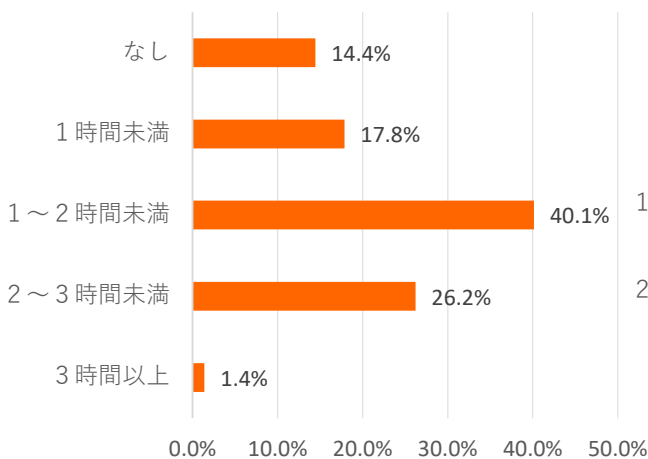
⑤ クラブ活動の活動日（曜日）について



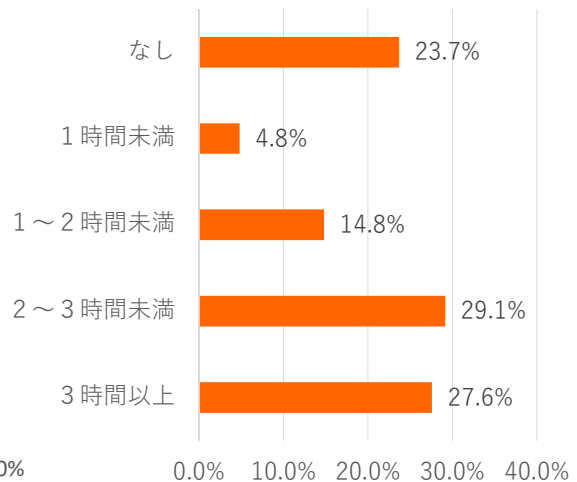
⑥ クラブ活動の活動日数（1週間あたり）



⑦ 平日の1回あたりの活動時間

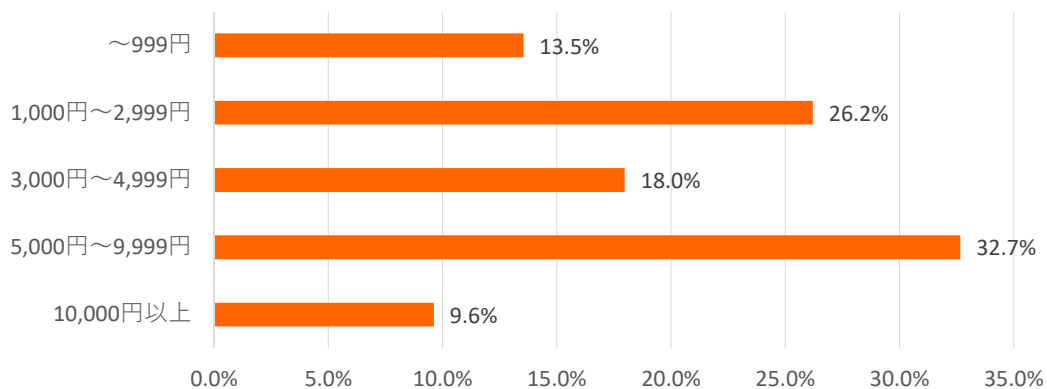


⑧ 休日の1回あたりの活動時間

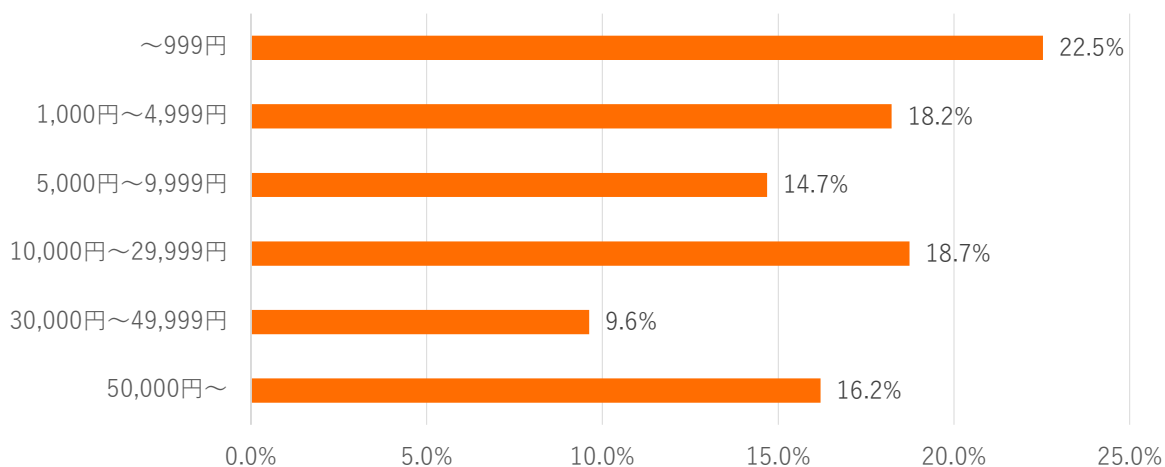


- 5,000円～9,999円の価格帯が最も多い結果となった。
- 年間経費については、活動により価格帯にばらつきがある。999円以下が最も多かった。

⑨ クラブ活動の月謝（会費）について



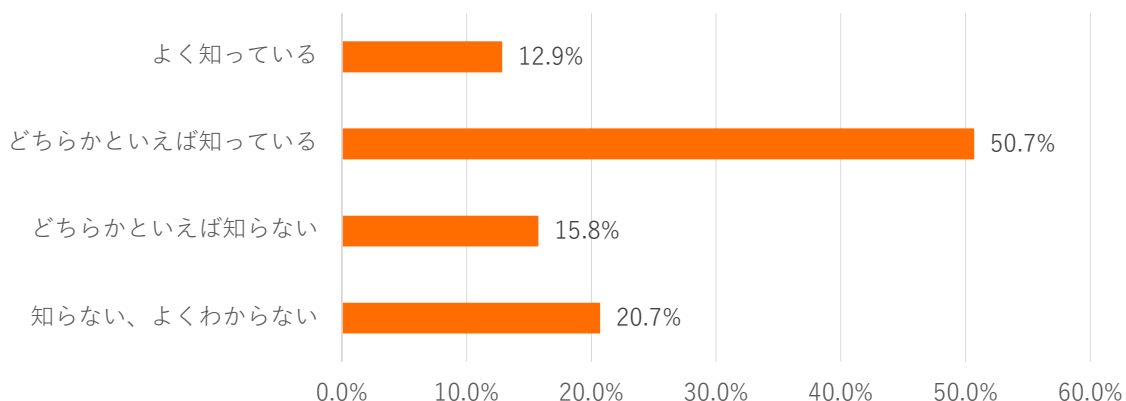
⑩ クラブ活動の月謝（会費）以外の年間経費（大会参加費・遠征費）



問2 部活動の地域移行について

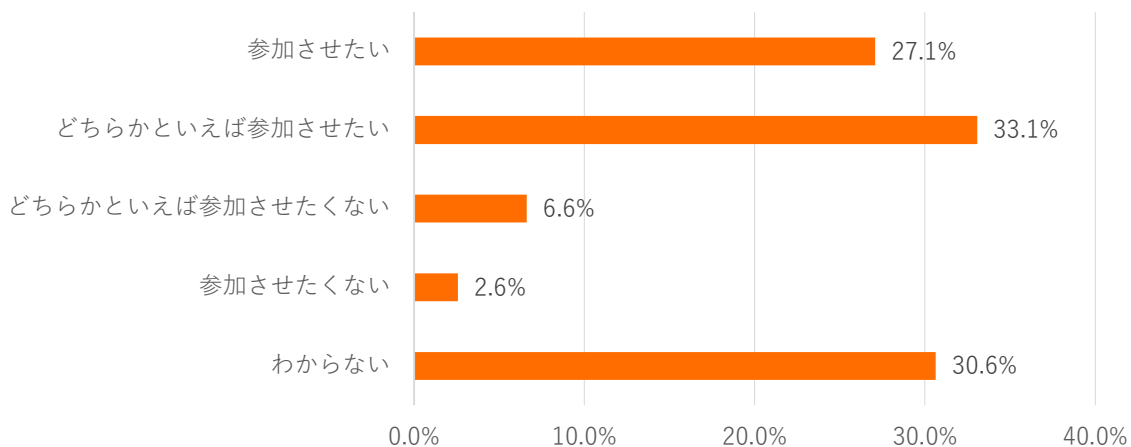
- 部活動地域移行の認知、期待について質問。
- 部活動の地域移行については6割以上が認知している。
- 参加に肯定的な意見が6割を超えているが、「わからない」との回答が3割以上で、地域移行の状況が分からない様子も推察される。

① 部活動の地域移行についての認知状況



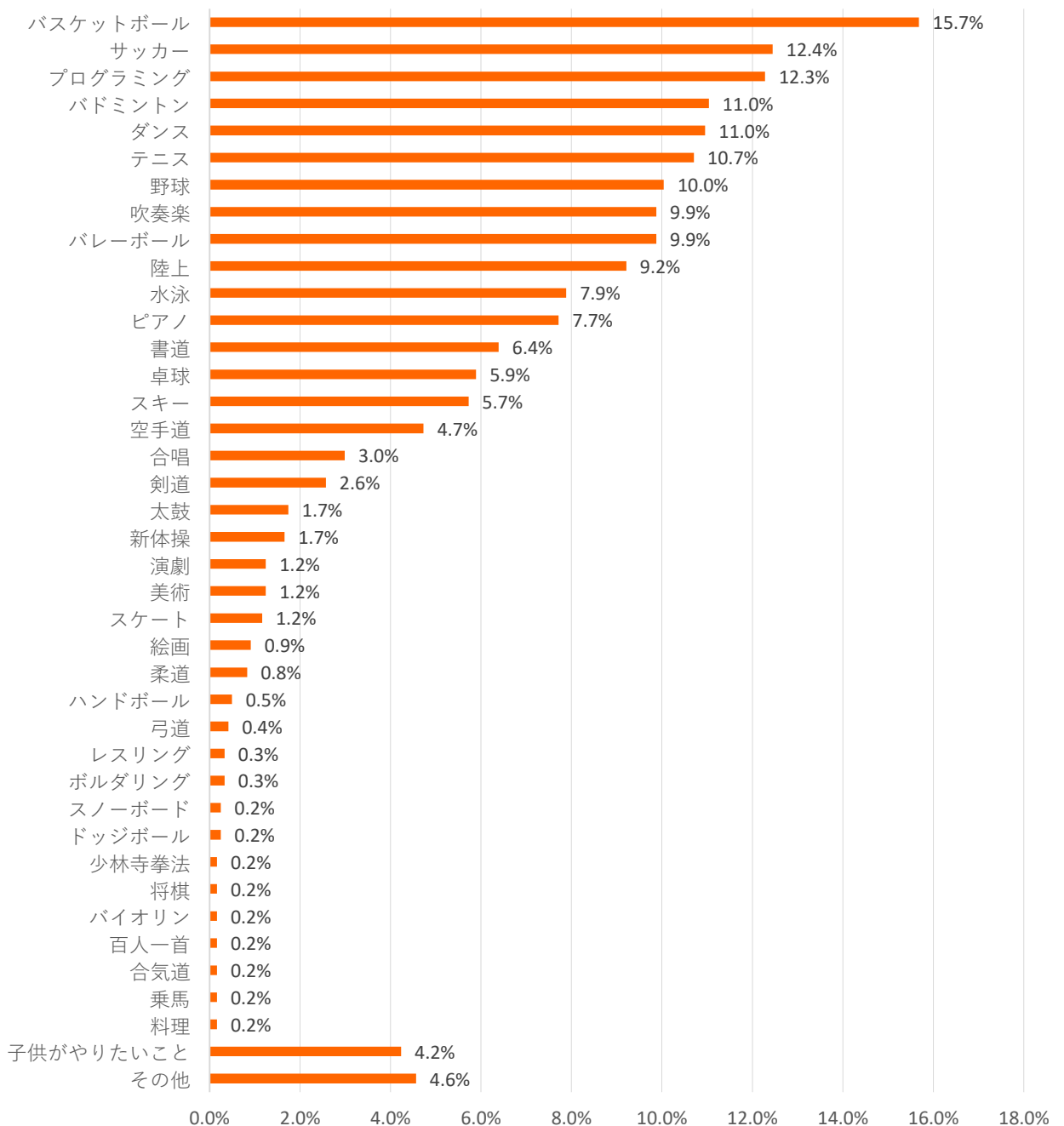
② 地域移行した部活動への参加希望 (追加想定)

休日は部活動を学校主体から地域主体のクラブ活動となり、活動場所や指導者が平日と異なることも想定されます。



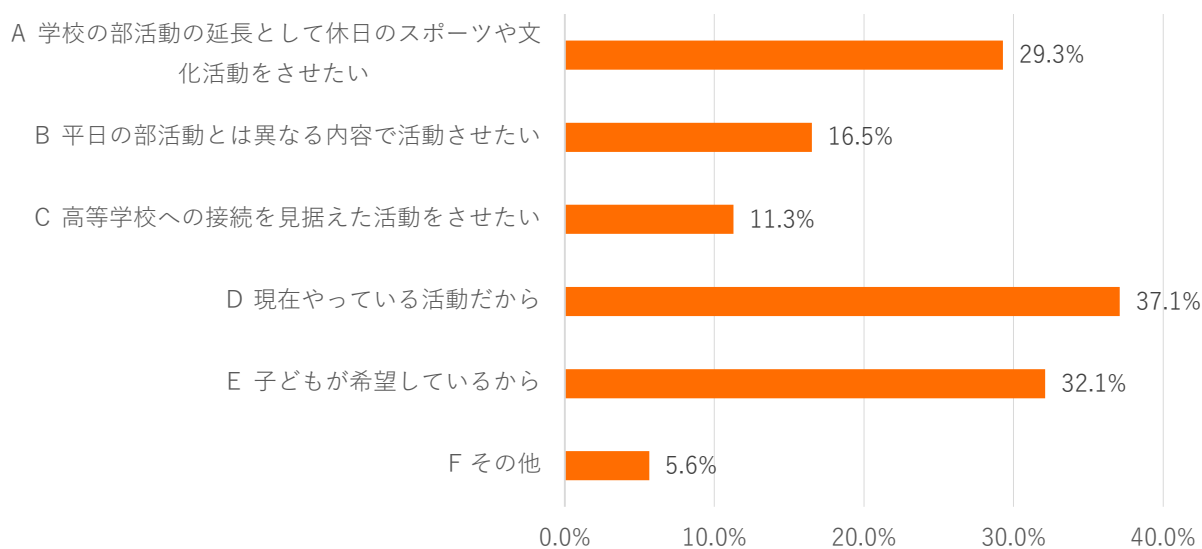
- バスケットボール・サッカー等の競技のほか、「プログラミング」「バドミントン」「ダンス」といった部活動にない競技への希望が高いことが確認できる。
- 部活動にはない活動が多く、多様な希望が見受けられる。

③ 休日に地域主体のクラブ活動へ参加させる場合に希望する活動（複数選択）



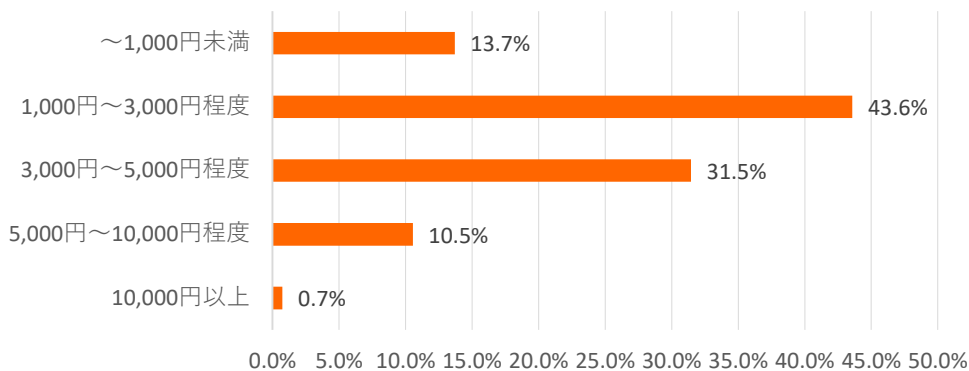
- 現在行っている活動を、引き続き中学校でも継続する回答割合が最も多かった。

④ 休日に地域主体のクラブ活動へ参加させたい理由（複数選択）

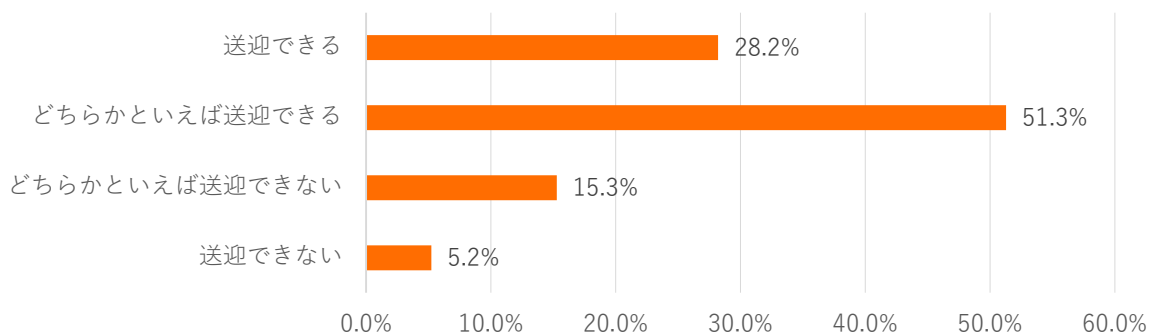


- 月謝について、1,000円～3,000円程度までが最も許容できるとの回答だった。
- 送迎については、約8割が送迎できるとの回答であったが、休日は仕事などにより送迎できない回答者もいるため、活動場所までの移動は課題になってくると想定される。

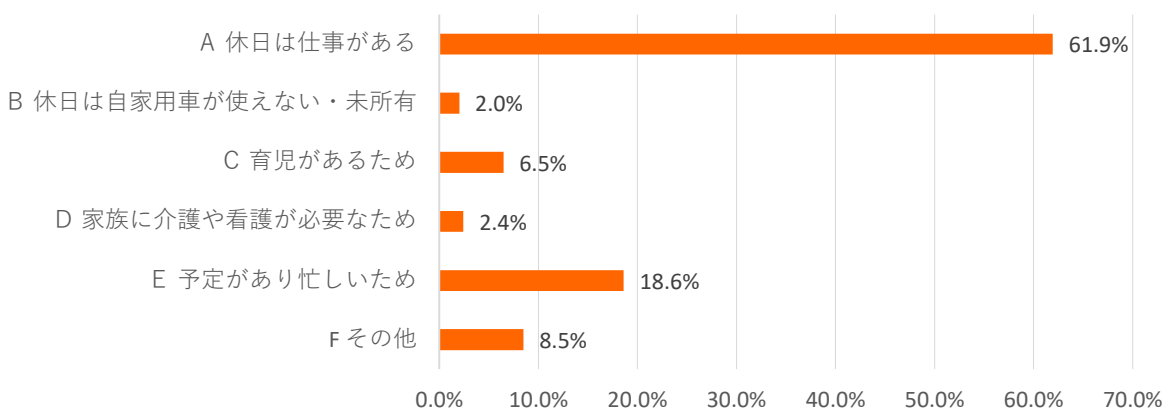
⑤ 休日の部活動が地域主体のクラブ活動となった場合に、許容できる月謝額



⑥ 休日部活動が地区（学区）外の体育館等で行われると場合、送迎可能か（追加想定）送迎の範囲は、片道概ね30分以内の想定をしています。

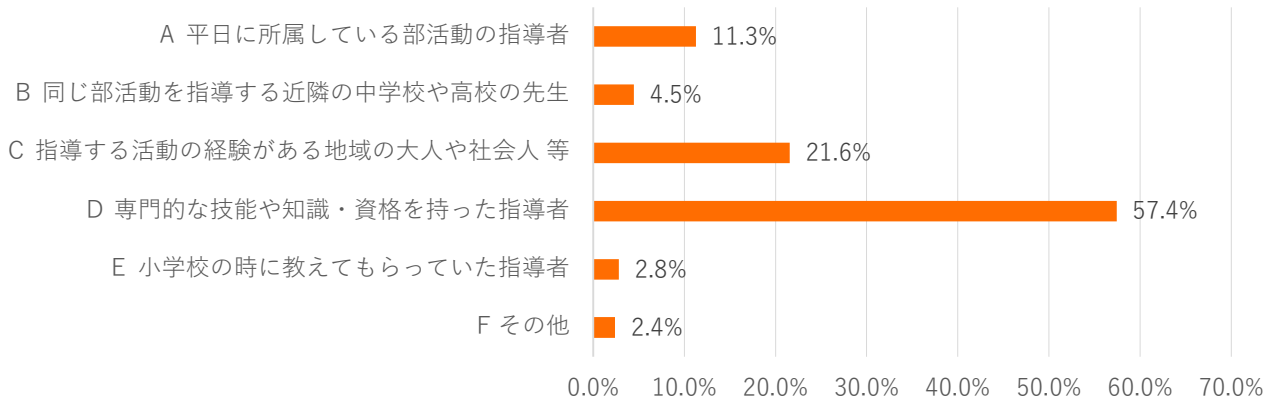


⑦ 送迎ができない場合の理由

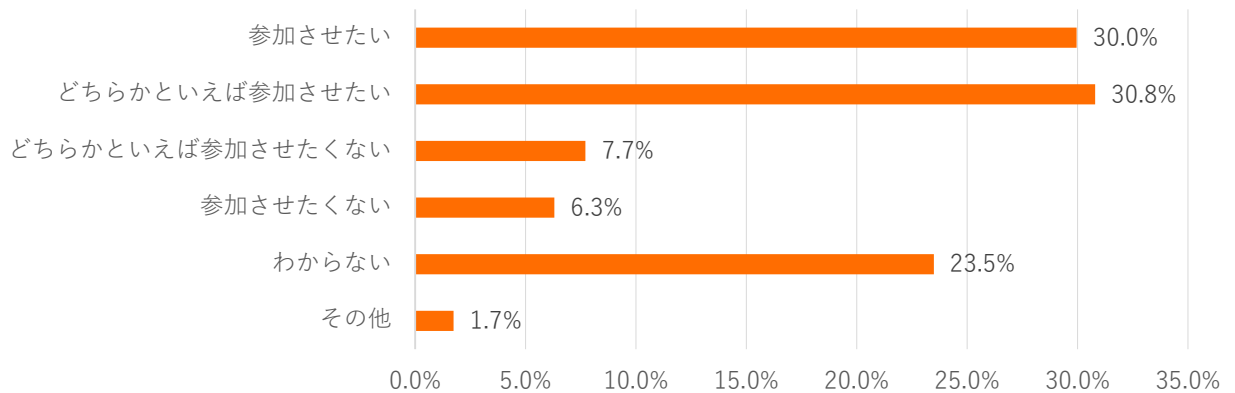


- 専門的な指導を望む回答が約6割と、専門性を求める声が多かった。
- 約7割の回答者が、合同部活動の参加に肯定的であった。

⑧ 休日部活動が地域主体のクラブに移行した場合に、希望する指導者について

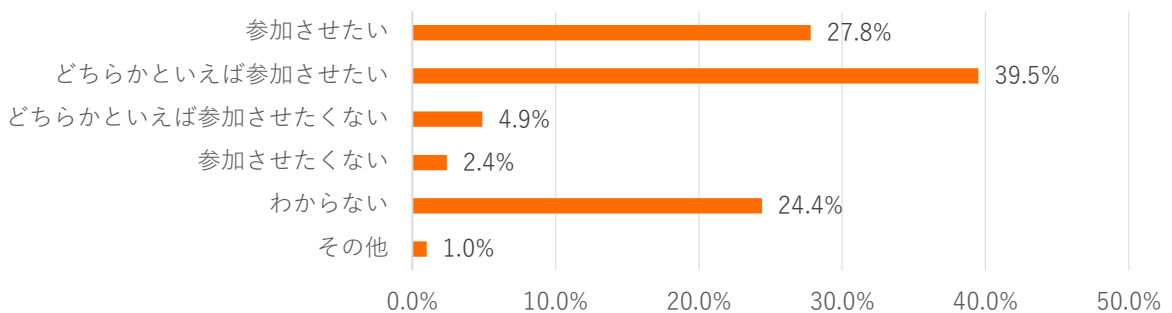


⑨ 勝敗や大会・コンクールの結果にこだわらず、気軽に楽しく体を動かす、いわゆる「ゆる部活」への参加希望



⑩ 休日部活動について、やりたい種目が合同部活動により継続できる場合の参加希望

(追加想定) 自分が通う中学校以外が会場になる場合も想定される。



⑪ 部活動の地域移行に関わる自由記述（まとめ）その1

自由記述に多く寄せられた項目から順に掲載する

一つの回答に複数の項目が記載された場合もあるため、その際は、いずれか一方の内容を採用とした。

【保護者負担について】

- 小学生と中学生の保護者です。休日部活や運動部は試合等があり、保護者の送迎に負担が大きい。地域移行になると送迎、月謝など他の問題も増えると思う。保護者が手伝う体制もやめてもらいたい。
- 部活はバス通学のため送迎がありがたい。地域移行後、送迎・他校との保護者会、親の負担が大きいと推測。現在の社会体育の時間だと、活動させたくても戸惑う。
- 休日も仕事をしている保護者の負担を考えると、やらせたい事が出来ない環境は避けてほしい。
- 中学校の部活を選ぶ理由は自分で移動ができる範囲の活動が多いからです。平日も保護者の送迎が必要となると参加が難しいです。
- 習い事の他に休日まで練習で送迎をするのは家庭的に不可能。時間、場所、金額によってやりたくてもやれない人は増える。指導者が専門資格のあるクラブチームなら月謝は考えられるが、部活動の延長という内容での月謝は考えられない。
- 地域移行に絡め幅広いスポーツや活動が選べるようになるといい。市職員、企業サポーターなど、様々な支援を求め、市からこういった活動にしっかりと補助金を出す・送迎バスなどの活動支援
- 役員がなければ是非参加したいと思っている人は多いと思う。費用面は理解できるが、役員などの負担があるとためらう。
- 月謝がかかるとすれば、専門の指導者に指導はお願いしたい。

【指導者確保について】

- 子供達に選択肢を持たせつつ、顧問の負担を減らし、専門的な知識と経験のある指導者に担当してもらえるようにしてほしい。
- 指導者が複数いても、みんなそれぞれの指導のやり方が違うと混乱する。長く続けてくれる指導者の方が有難い。コロコロ変わるのは困る。
- 地域の指導者が選ばれるプロセス、指導者の資質が心配。特定のチームの指導者が地域移行の指導者になった場合、メンバーのえこひいきが発生しないか心配。
- 中学生の保護者です。学校部活では外部コーチが入り、主に休日は外部コーチが指導している。専門的だが、熱が入り過ぎており外部コーチが所属している社会人のクラブの練習(平日夜間)にも参加するよう進めたり、対応に苦慮します。
- 適切に運営、活動できているか、チェックする仕組みが必要ではないかと思う。
- 学校はどの程度関わってくるのか？月謝等はどれくらいかかるのか？外部に頼む場合、指導してくれる人の素性等は確かなのか？顧問の先生の負担が減るのは良い事だと思う。
- 有料で外部にお世話になるのは当然の流れだと思う。教育を善意に頼るのは時代の流れに沿わなくなっていると思う。
- 平日と休日で指導が違っていると指導が変わる可能性があるため、必ず部活の顧問と地域移行先で方向性や指導方針をすりあわせして欲しい。子供の混乱、またはトラブルが起きないようにお願いしたい。

⑪ 部活動の地域移行に関わる自由記述（まとめ）その2

自由記述に多く寄せられた項目から順に掲載する

一つの回答に複数の項目が記載された場合もあるため、その際は、いずれか一方の内容を採用とした。

【情報提供について】

- ・ 移行時期の情報がない、子供達自身も不安になっている。早めに情報連携して頂き決断できるようにしてほしい。
- ・ 地域移行というものが今までとどう違うのか、説明会等あるのか、情報をどこから入手すれば良いのか教えて欲しい。地域以降にするメリット、デメリットや、保護者の介入がどこまで必要なのか、子どもが満足に指導を受けられるのか知りたいです。
- ・ 部活動地域移行の情報や、中学入学に向けてどんな準備や移行方法がとられるのかなど、最新の情報を得られる機会が欲しい。
- ・ 曖昧な情報が多く混乱している。早めに細かいことを決めていただきたいのと、子供ファーストな仕組みにして欲しいです。

【部活動は現状維持/休日の部活動不要】

- ・ 今までのように、学校の様子、勉強の様子を配慮した上での部活動レベルにしてもらえるのが、子供にとっても負担にならず、親として希望する。
- ・ 子どもたちのことを知っている学校の先生に見てもらえたほうが安心出来たり大会に向けてしっかり練習が出来るように感じます
- ・ 部活動は課外活動だから意味がある。現状維持でよい。地域移行は反対。複数校の合同で先生同士が協力すればよい。
- ・ 学校の先生が部活の指導者を兼任するのは止めるべきだが、活動内容を情報共有して生徒の教育指導をお願いしたい。
- ・ 家族の時間も必要なので個人的には休日に部活は不要。
- ・ 地域移行してまで休日に部活をしなくてもよい。学校の部活以外にやりたいことをやればよい。
- ・ 平日のみ学校の部活動で充分。

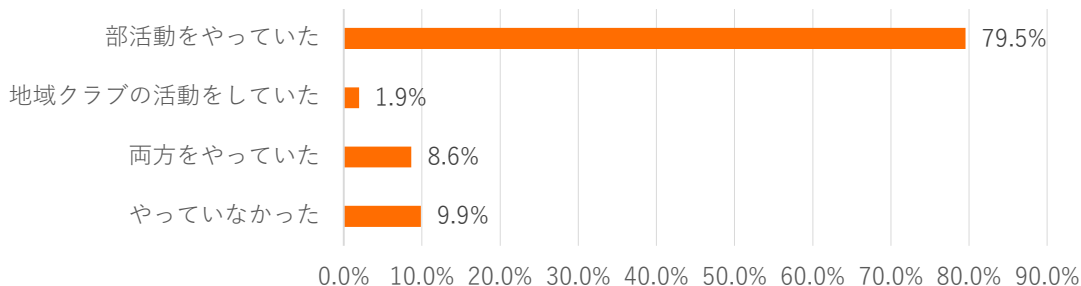
【その他】

- ・ 現状の部活動では選択肢が少な過ぎて子供達が本当にやりたい活動が出来ていない印象です。なるべく早くに地域移行をしていただき、本当にやりたい競技を楽しめる環境を望みます。
- ・ ワークショップや検討委員など立ち上げ、そこへ保護者(希望者)が参加できるような取組があったら有難いです。
- ・ 何をさせたいかの前に、地域主体のクラブが信頼できる機関であるという安心感が欲しい。
- ・ 民間の方のお世話になることは基本的に賛成ですが、指導者と保護者の方向性が違いすぎることもある。地域クラブやその指導者になる条件等が見えれば、保護者が判断しやすくなると思います。
- ・ 地域指導者は確保できているのか。無償で丸投げするのではなく、給与等人材確保できる体制があるのか。

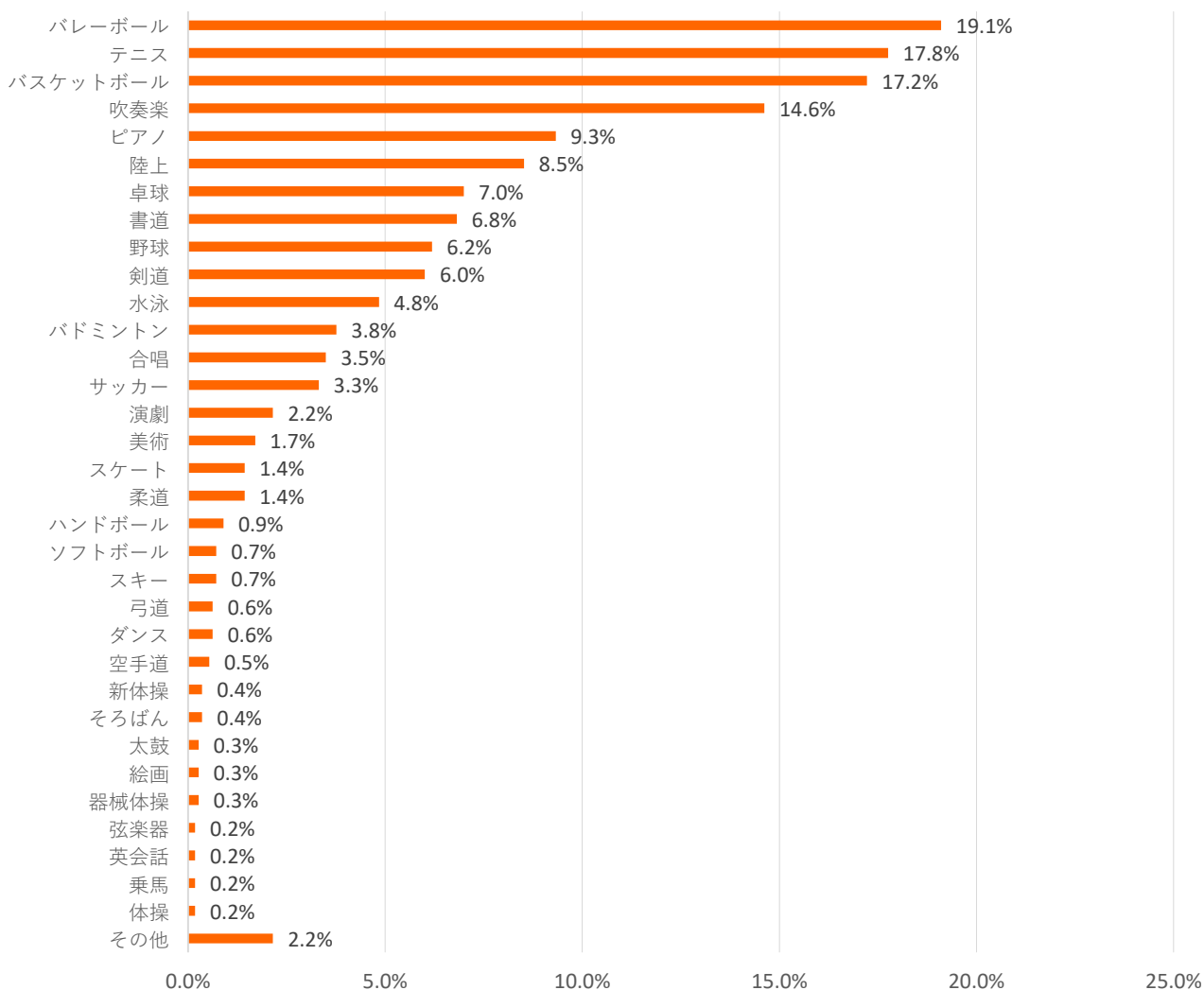
問3 保護者の経験・指導について

- 保護者の部活動経験やスポーツ少年団等の指導経験について質問。
- 地域指導者をいかに確保していくか、検証する。
- 約9割の回答者が、中学校時代に活動を行い、多様な活動をしていた。

① 中学生時代に部活動やクラブ活動でスポーツや文化活動の経験の有無

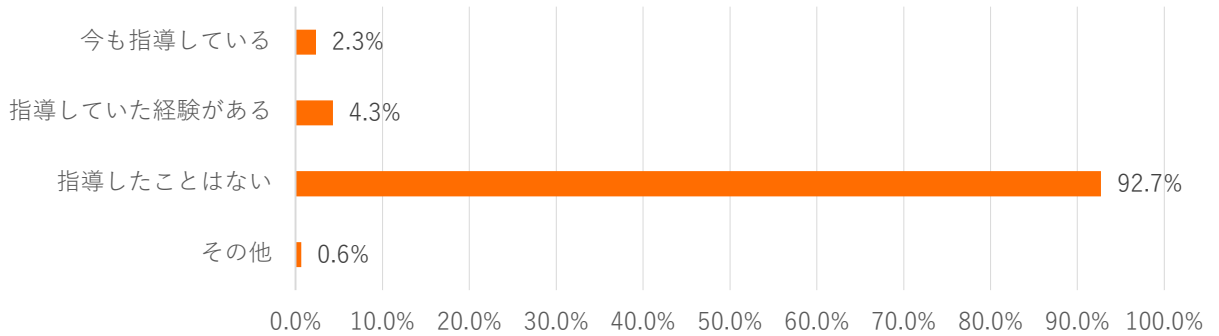


② 経験した活動の種類（複数選択）

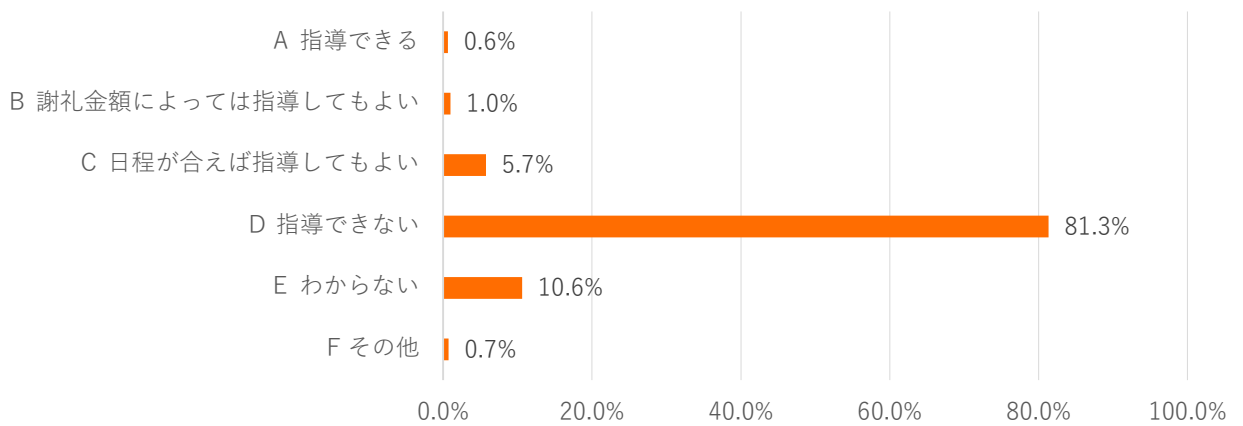


- 指導経験のある回答者は6.6%であった。
- 7.3%の回答者が、地域移行後に条件によって指導者となり得ることが分かった。

③ スポーツ少年団や文化活動等での指導経験について



④ 部活動が地域に移行した際、指導者になれるか



- 指導可能な活動について、野球との回答が最も多かった。
- 多くの部活動の競技・活動について、指導可能な人材がいることが確認された。

⑤ 指導可能な活動（複数選択）

